

令和7年度

応神小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 基礎学力定着のために、個別学習や繰り返し学習を実践する。
- 主体的に学び、個々の学びを伝え合う授業を実践する。

校長

田浦 良浩

学力向上推進員

教務 森本 真紀

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○学習内容を習得しようと繰り返し課題に取り組み、努力できる児童が多い。 ●正確に計算したり、文章の内容を理解したりすることに課題がある児童がいる。	・学年相応の漢字の読み書きや基礎的な計算が正しくできる。 ・読みたい本を選び、じっくり読むことができる。 ・文章の内容を理解し、問題を正確に解くことができる。 ・自ら意図をもって、日常的にタブレットを使うことができる。	・学校独自の漢字テストを全校で実施し、学年相応の漢字を習得できるようにする。 ・繰り返しの計算練習や、毎日の音読の宿題に取り組み、基礎学力が定着できるようにする。 ・読書をする時間を意図的に設定する。 ・文章問題では、必要なところにアンダーラインを引くなどさせる。 ・日常的にタブレットを使えるように学習場面を設定する。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○気の合う友達や少人数のグループでは、自分の考えが伝えられる。 ●必要な情報を選んだり、自分の考えを見直したりすることに課題がある児童がいる。	・自分に必要な情報を正しく選び、自分の考えを絵や文でまとめることができる。 ・人の考えを聞き、自分の考えを見直したり広げたりすることができる。	・絵や文でのまとめ方を具体的に提示し、自分の考えをわかりやすくまとめる時間を設定する。 ・互いの考えを伝え合える雰囲気大切にしながら、ペア学習やグループ学習を行う。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○興味・関心のある学習には一生懸命取り組むことができる。 ●自分で学習の準備をしたり、問題意識を持って追求したりすることに課題がある児童がいる。	・主体的に学習に取り組むことができる。 ・見通しを持って学習の準備をすることができる。 ・自分で課題意識を持ち、解決しようと努力することができる。	・学習に興味があわくような教室環境を作ったり、言葉かけをしたりする。 ・授業の構造化を図り、見通しがもてるようにする。 ・「家庭学習のてびき」や「自主学習の取り組み方」を配付し、家庭との連携を図る。			